

令和2年度(2020)

寄附受入状況と活動報告



宇都宮大学3C 基金

宇大スピリット3C精神（Challenge、Change、Contribution）を冠した本基金は、皆様から多くのご支援をいただき、広く社会で活躍しうる人材の育成にむけて、奨学金の給付、教育研究活動、地域への貢献活動、キャンパス環境の整備等の支援に活用させていただいております。

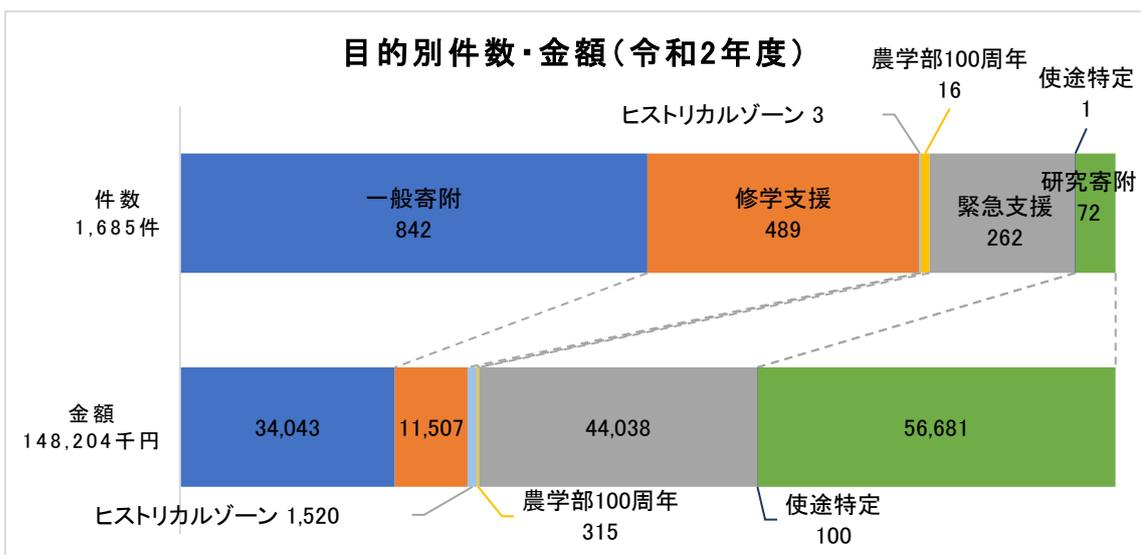
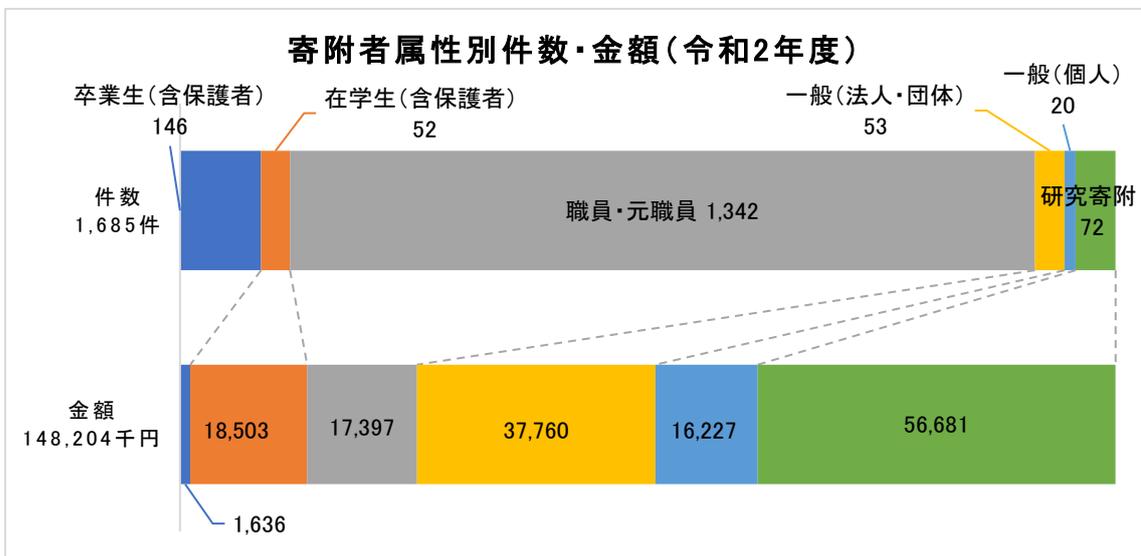
本基金の趣旨に対し、深いご理解とご協力を賜わり、多大なるご寄附を頂戴した皆様には、厚く御礼申し上げますとともに、これまでの寄附受入状況と令和2年度の支援活動についてご報告いたします。

1. 寄附金の受入状況

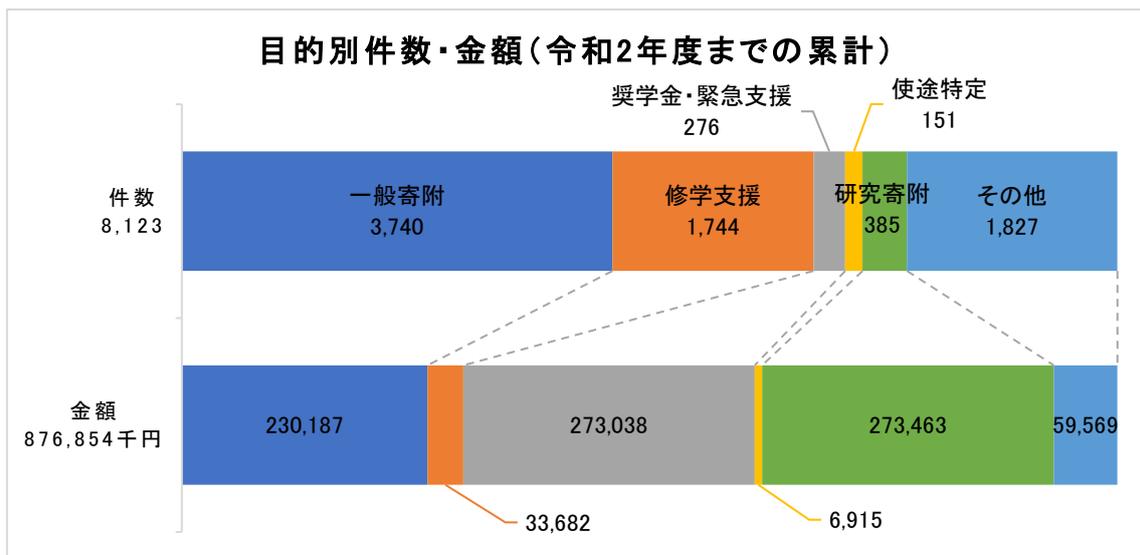
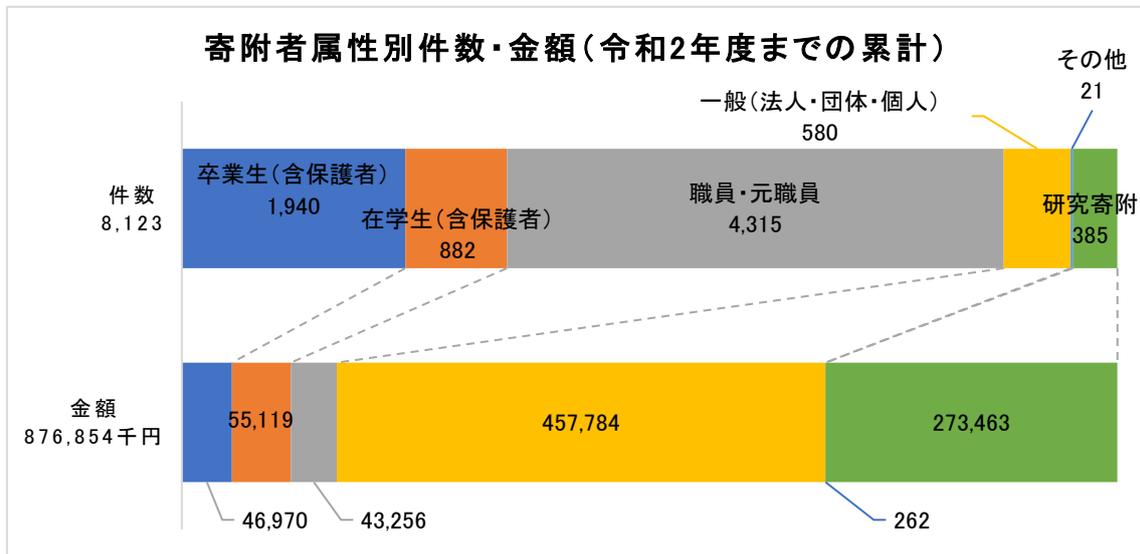
令和2年度までに、卒業生、在学生、職員(元職員)、法人・団体の方々から8,123件、総額約8億7,685万円のご寄附を頂戴いたしました。

また、122名の個人の方々と30法人様が「宇大倶楽部」にご入会いただき、継続的なサポーターになっていただいております。

(1) 令和2年度受入れ実績



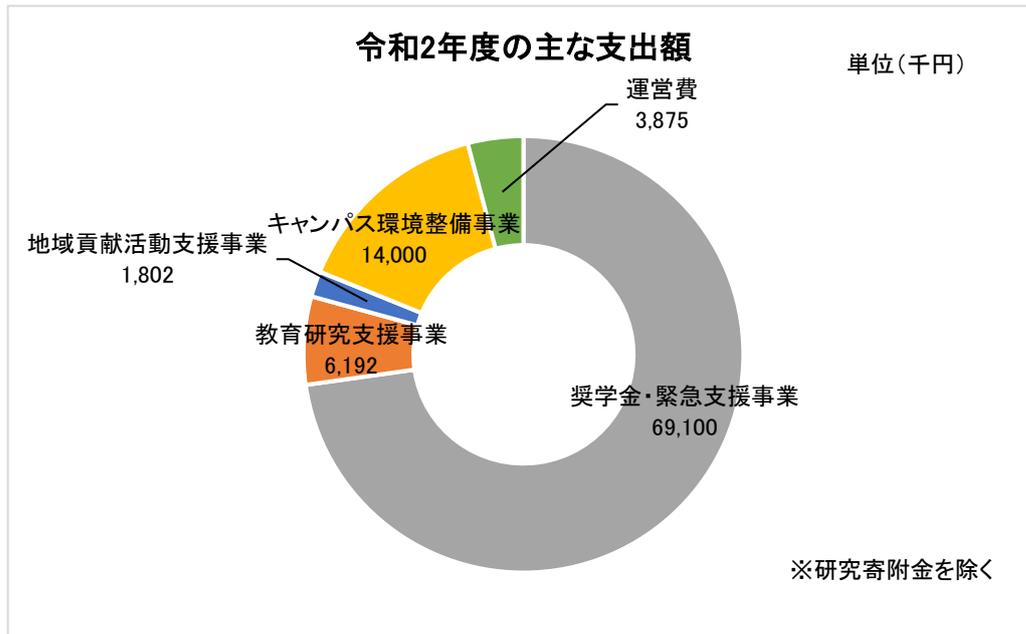
(2) 令和2年度までの受入れ実績



- **一般寄附** 大学への全般的な支援
- **修学支援** 経済的な理由により修学が困難な学生への支援
- **奨学金・緊急支援** 飯村チャレンジ奨学金、増山奨学金、斉藤裕奨学金、関スポーツ奨学金、入学応援奨学金、緊急支援
- **使途特定** ヒストリカルゾーンの整備、農学部 100 周年記念事業、部局等使途特定
- **研究寄附** 寄附者から、使途を教員の研究に指定された寄附金
- **その他** 旧基金の枠組による使途を問わない学生・外国人留学生・国際交流支援、キャンパス整備等

2. 令和2年度の主な実施支援事業の報告

皆様から頂戴したご寄附は、以下の支援事業にて使用させていただきました。



(1) 緊急学生支援

新型コロナウイルス感染症拡大に際し、アルバイトや仕送りの減少により生活が一変した学生へ支援を行うため、緊急学生支援基金を立ち上げました。地元企業や個人の方々、卒業生、教職員や在学生から総額4,400万円のご寄附が寄せられ、のべ1,200名を超える学生を支援することができました。



1) 緊急奨学金（給付型）

「飯村チャレンジ緊急奨学金(光陽エンジニアリング株式会社様[代表取締役会長:飯村慎一氏]からのご寄附)」及び「飯塚緊急奨学金(飯塚真玄様[株式会社 TKC 名誉会長]からのご寄附)」を主な原資として417名(前期287名、後期130名)の日本人学生へ、また、「増山緊急奨学金(増山律子様[ランスタッド株式会社名誉会長]からのご寄附)」を主な原資として111名(前期91名、後期20名)の外国人留学生へ、総額4,096万円の緊急奨学金を給付しました。

2) 緊急奨学金（貸与型）

アルバイト収入が減少し、生活や修学が困難となっている学生を対象に、無利子貸与する仕組みを作り、合わせて45万円を貸与しました。

3) 学生ピアサポート

入学当初から大学に来られず、パソコンに向かってオンライン授業を受け続けていた新1年生に対し、上級生が学生ピアサポートとしてメンタル面を含めた様々な相談に対応するため、1年生全員を約200のグループに分け、上級生2人を配置する仕組みを作りました。

宇都宮大学学生後援会様からのご寄附を主な原資として、のべ712名(前期385名、後期27名)に対し、総額1,424万円を学生ピアサポート奨励費として支給しました。

4) パソコンの貸与

株式会社TKC様から75台のパソコンを現物寄附いただき、オンライン授業に当たりパソコン環境に支障のある学生のべ85名へ貸与しました。

(2) 奨学金事業

1) 飯村チャレンジ奨学金

光陽エンジニアリング株式会社様からのご寄附を活用し、チャレンジ精神旺盛な学生を支援する奨学金です。

新型コロナウイルス感染症拡大に際し、令和2年度は光陽ホールディングス株式会社様から追加の資金を得たことにより、例年の2倍となる30名の学生に対し月額3万円/12ヶ月(合計36万円)を給付しました。給付者については、コロナ禍であってもボランティア活動に積極的に参加することを条件に、チャレンジ精神旺盛で経済的な支援が必要と認められる学生を書類と面接によって選考しました。

令和3年3月には、奨学生のボランティアや研究活動についての報告会を、宇都宮市内のホテルを会場に開催しました。



2) 入学応援奨学金

宇都宮大学への入学を希望しながら、経済的理由により進学を断念することがないように栃木県内高校出身の学生 1 名に対し、入学時に必要となる学資の一部として 30 万円を給付しました。

なお、選考は令和元年度中に実施し、入学後の令和 2 年 4 月に給付しました。

3) 関スポーツ奨学金

関雅樹様(株式会社栃木ブレックス取締役会長)からのご寄附を活用し、課外活動団体(体育系で各種競技大会に出場している任意団体)に所属し、積極的にスポーツ活動に参加し、スポーツと活動と学業の両立のため、経済的に支援が必要と認められる学生に対して、1 名あたり 10 万円を給付する奨学金です。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動制限のため、募集は行いませんでした。

4) 増山奨学金—外国人留学生支援奨学金—

増山律子様からのご寄附を活用し、大学院修士課程及び大学院博士前期課程に在籍する学生のうち、学業成績及び人物が優秀で、かつ留学時の生活のための経済的支援を必要とする私費外国人留学生を支援する奨学金です。

令和 2 年度は、8 名(前期 4 名、後期 4 名)に対して、それぞれ 10 万円を給付しました。

5) 増山奨学金—海外留学支援奨学金—

増山律子様からのご寄附を活用し、世界トップクラスの大学等へ留学するために、経済的支援が必要な学生へ給付する奨学金です。

令和 2 年度は、条件を満たす者がいなかったため支給はありませんでした。

6) 斎藤裕奨学金

理工系の学士課程 4 年生と大学院修士課程及び博士前期課程に在籍する学生のうち、先進的な研究開発に意欲がある学生に給付する奨学金です。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策のため、募集は行いませんでした。

(3) 教育研究支援事業

1) 教育プログラム支援

国際連携教育活動への支援を、地域デザイン科学部(2件/65万円)、国際学部(1件/50万円)に対し行いました。支援した教育活動のテーマは以下のとおりです。

- ・ ベトナム ダナン科学技術大学と本学の大学間交流協定締結に伴う国際連携教育の推進 (地域デザイン科学部)
- ・ グローバルな視点を取り入れたまちづくりを推進するためのインドネシアの大学との国際連携教育プログラムの構築 (地域デザイン科学部)
- ・ 台湾における現地学生・院生と本学学生・院生との共同調査・ワークショップの開催 (国際学部)

2) 3C 留学奨励金

海外派遣プログラムに参加する学生に支援を行う事業です。オンライン研修、渡航制限によるキャンセル料としてのべ68名の学生に対し162万円を支援しました。



3) 大学院生研究奨励金 (研究グラント)

フィールドワークや各種調査等に主体的・意欲的に取り組む大学院生に対して支援するものです。

令和2年度は、別予算によって措置されたため、支援は行いませんでした。

4) 斎藤裕研究助成金

先進的な理工系の研究者支援のため、若手教員へ助成を行うものです。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策のため、募集は行いませんでした。

5) 飯村 SDGs 推進奨励賞

光陽エンジニアリング株式会社様からのご寄附を原資として、地域社会でのSDGs推進を目指す教育・研究プロジェクトや意欲的にSDGs推進活動を支援するものです。

令和2年度は、教員が行う地域貢献・課題解決型プロジェクト1件、学生が行う社会貢献活動3件に対し、合わせて69万円を支給しました。



学生の活動

6) 教育設備の充実

基盤教育英語科目 (EPUU) における学習内容の充実を図るため、株式会社 TKC 様のご寄附を活用し、学生 1 人に対し 1 台の iPad を使用しています。

令和 2 年度は、ネットワーク通信、セキュリティ関連に対し 160 万円を支出しました。



iPad を活用した英語授業

7) 学生支援（課外活動支援等）

課外活動施設改善のため、硬式野球場の内外野補修を行い 120 万円支出しました。



整備中の野球場

(4) 地域貢献活動支援事業

1) 地域貢献活動支援

峰が丘地域貢献ファンドの運用益を活用し、コロナ禍において地域に貢献する活動(部局企画事業 3 件、学生企画事業5件)に対し、98 万円の支援を行いました。



地域の人たちと制作したベンチ

2) 3Cキッズカレッジ

次世代育成事業として、理科実験体験やものづくり教室など、オンラインで開催可能な6件の子ども向け体験活動講座・教室活動に対して82万円の支援を行いました。



(5) キャンパス環境整備事業

1) 各キャンパス改修工事

キャンパス環境整備(建物改修に伴う環境整備)の積み立てのために400万円を振り替えました。

令和2年度は、この中から陽東キャンパス学生プラザ改修に伴い附属図書館分館の閲覧テーブルや椅子、保健管理センター分室の体組成計購入のため660万円を支出しました。



2) 特別事業予算への振替

ヒストリカルゾーン(大谷石蔵、庭園、講堂)の整備積立のために1,000万円を振り替えました。

令和2年度は、この中から峰ヶ丘講堂トイレ改修のため81万円を支出しました。



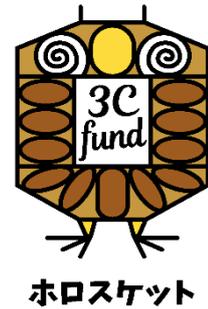
(6) 研究寄附金

学術研究に要する経費など、教育研究の奨励などを目的に寄附者から指定された教員等へ合わせて5,568万円を受け入れ、当該教員の学術研究及び教育活動等に使用されました。

(7) 基金運営費

銘板の設置、サポーターパネルの更新、返礼品、寄附特典等、寄附者の方々への対応費用として 167 万円を支出しました。

また、リーフレット作成、ロゴマーク商標登録、郵送費等3C基金運営の事務費用として 220 万円を支出しました。



3. 今後の計画

令和3年度は、引き続き学生の学修機会を最大限に確保できるよう、学びの継続のための多角的な施策により、支援体制を強化していきます。

また、これまでの支援事業に加え、クラウドファンディングを活用した様々な受入と支援の方策やそれに付随した大学認知度の拡大を図っていきたいと考えています。

宇都宮大学3C基金の精神に則り、さらなる教育研究活動の充実をはかれるよう支援事業の拡充に取り組んでまいります。今後とも宇都宮大学3C基金に対する変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

宇都宮大学3C 基金事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

tel: 028-649-8177

e-mail: kikin@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp